

学科 学年	3年C	科目 分類	数学B Math. B	講義 必修	H. 18通年 2単位	学習教育目標 B	担当	谷 次雄 TANI Tsugio
概 要	行列と行列式である。							
科目目標 (到達目標)	行列式の定義、連立一次方程式との関係から行列式を用いて連立一次方程式を解く事ができる。固有値、固有ベクトルの定義性質を理解して、行列の対角化の応用問題を解く事ができる。							
教科書器材等	新版線形代数、新版線形代数問題集(大日本図書)、高専の数学2問題集(森北出版)							
評価の基準と 方法	試験の成績で100%評価する。黒板への問題解答を怠ったとき、真摯な学習態度でないとき、課題を提出しないときは最大20%まで減点する。試験の成績が不良の者は指定した課題のレポート、または再試験が良好ならば20%を限度としてプラスすることもある。							
関連科目	1学年、2学年の数学AI、数学AII、数学B							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		消去法						
第2回		逆行列と連立一次方程式						
第3回		行列式の定義						
第4回		行列式の性質						
第5回		行列式の展開						
第6回		行列の積の行列式						
第7回		定期試験						
第8回		正則な行列の行列式						
第9回		同上						
第10回		連立1次方程式と行列式						
第11回		同上						
第12回		行列式の図形的意味						
第13回		同上						
第14回		演習						
第15回	×	定期試験						
第16回		線形変換の定義						
第17回		線形変換の性質						
第18回		同上						
第19回		線形変換の合成						
第20回		直交変換						
第21回		同上						
第22回		定期試験						
第23回		固有値と固有ベクトル						
第24回		同上						
第25回		行列の対角化						
第26回		同上						
第27回		対称行列の対角化						
第28回		対角化の応用						
第29回		同上						
第30回	×	定期試験						
オフィス アワー	原則として授業、会議、クラブ指導のないとき、研究室前に掲示する。							
授業アンケート への対応 備考	予定した項目をすべて教える。							
更新履歴	2006/1/25							